

しんあい

季刊

2014年(平成26年)11月5日発行 第92号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧下さい！



きれいな落ち葉 見つけた！ 「はい、どうぞ」（しらとり）

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター
泉苑ケアセンター

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑
高齢者在宅サービスセンター

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ

児童福祉

- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

・新・介護保険を考える10

・祝・敬老の日

・しんあい紙上展覧会

・施設だより

「秋といえば・・・」



新・介護保険 を考える 10

— 社会福祉法人 の本来業務は？ —

理事長 鈴木 恂子



厚生労働省の「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」報告書をうけて、社会保障審議会福祉部会で社会福祉法人制度見直しが議論されています。併せて社会福祉法人、福祉施設での内部留保や社会福祉法人の理事長による不正スキャンダル等が新聞等で報じられています。内部留保は社会貢献事業として地域に還元すべし、同じ介護保険事業者として株式会社等の民間事業者と同様に課税すべし、等の指摘があります。

社会福祉法人の役割は何か、あらためて確認するために、老人福祉施設の役割の変化を通して社会福祉法人の現状を整理しました。

社会福祉施設は、戦後の混乱期や経済成長の波にのりおくれたり、競争社会など、時代時代の社会状況のなかで生活が成り立たない人々の生活を公的に保障するために補助金（基準額の3/4）で整備してきました。

公的責任を負って税金を主たる財源に運営するために、非営利で市場の価値観とは別の福祉理念をもつ社会福祉法人のみが経営主体として認可されました。

2000年、社会福祉の基礎構造改革により、公的責任から自己責任へ、措置から契約・選択という大転換があり、社会保障の財源は税から保険制度へと移行しました。施設整備の補助金は現在1/3程度、法人の自己資金の不足分は借入金でまかない、返済財源の大半は利用者の居住費負担になりました。

その結果、公的福祉の具現化の場から介護保険市場へ、利用者負担は応能負担から応益負担へ、生活の基盤や基本的な生活支援から介護サービスの提供と変化し、本来の社会福祉法人の役割は希薄になりました。またそうした環境のなかで社会福祉法人が多様化してきたことも事実です。

そして15年間。個別の問題として地域に埋もれていた様々な状況が顕在化し社会問題となってきました。

社会福祉法人の本来業務は ①衣食住をはじめとする生活基盤の提供と、②日々安心して暮らせる生活支援です。

加えて、経済力の弱い人、自立が困難な人々を支援するために制度化されたのが福祉施設でした。

多様な経営主体と同様のサービス提供事業者に位置付けられ、社会福祉法人の役割使命があいまいになり、今その存在が問われています。社会福祉法人の役割を追求し、本来業務を見失いたくないのですが…。

	生活保護法 → 老人福祉法成立から充実へ	老人福祉法 → 介護保険法へ	地域の現状	まとめ	
変 化	生活保護法（1950年） 衣食住 養老施設	住宅扶助・生活保護 老人福祉法の質的变化 養護老人ホーム → 軽費老人ホームA・B型 → ケアハウス（介護保険法：特定施設指定） 特別養護老人ホーム → 介護保険法（介護老人福祉施設指定） 在宅サービス → 介護保険法（各種 居宅介護サービス指定） 在宅介護支援センター → 介護保険法（包括支援センター / 区市から委託）	2003年三位一体の改革により措置費は地方交付税に含まれ、一般財源化により区市の入所数に予算枠があるため入所が限定される傾向にある 介護保険法（2006年から適用）： 特定施設指定または外部サービス利用	社会問題として顕在化する生活課題 ・家族がいない、経済力がない ・年金収入 月額10万円以下 ・住む家がない ・食材が買えない ・調理ができない ・買い物ができない ・外出ができない ・医療費が払えない ・受診を抑制する ・通院できない ・掃除や片付けができない ・洗濯できない ・ゴミ出しできない ・歩行がおぼつかない ・判断できない ・火の始末ができない ・電気・ガス料金が払えない ・配偶者の介護が負担 ・人とのつきあいがいい ・行くところがない	介護保険と自己責任で安心して暮らすためには、年金等の所得保障のうらづけが必要です。 しかし実質手取り年金は年々減少し、医療保険も含め保険料負担は上がる、利用料負担も増加となり、生活が苦しくなる高齢者が増えています。介護保険も医療保険も利用料が1割、2割、3割と増加し、本来利用すべきサービスや医療を先送りに自制することも少なくありません。予防より重度化を進めてしまいます。 住むところを確保し、暮らしをたてていくためにどうしたらよいか、答えが見つかりません。 第6期の市区の計画は、地域包括ケアシステムの施策のもと、介護予防・生活支援、家事援助も含めた「総合事業」がテーマになっています。そして近隣や高齢者相互の互助のしくみが求められています。 一方、社会福祉法人は地域貢献として、生活困窮者の支援等を義務化する検討も進められています。 しかし地域格差や任意性のあやうさも危惧されています。
	老人福祉法（1963年） 衣食住 + 文化的な生活 養護老人ホーム 特別養護老人ホーム 軽費老人ホーム 1989年 ゴールドプラン 1990年 在宅福祉サービスの推進 在宅三本柱 （デイサービス・ホームヘルプ・ショートステイ） 介護需要の拡大	介護保険法（1999年成立） 2000～第1期 4月より施行・老人福祉法から移行期 2003～第2期 居住費・食費 → 一部利用者負担へ 2006～第3期 介護保険本格実施 地域密着型サービス創設 2009～第4期 医療職の評価と加算 2012～第5期 住まいとサービス 2015～第6期 予防給付は自治体特養 要介護3以上利用者負担増（一 定所得以上二割負担）	老人福祉法から移行期 人福祉法から移行期 部利用者負担へ / 給付の適正化・予防給付新設 ス創設 算 / 複合型サービス等地域密着型新サービス の介護予防・生活支援総合事業へ 上原則（要介護1、2 → 特定入所） 定所得以上二割負担）	老人福祉法の養護老人ホーム、特別養護老人ホームは衣食住+文化的生活を現物で提供する場であった。年金がなくても、少な制度が変化した2000年、生活の保障は生活保護法に残し、高齢者の社会保障は「介護」にて、サービス付き高齢者住宅等が急増しているが、居住費等の利用者負担が重く、年金がなくなり、食事の宅配業や家事サービスも市場で多様化している。経済力のある高齢者には、で購入する力のない単身・老世帯の生活は孤立している。 していないため、衣食住をはじめとする生活上の課題は、介護保険では解決できない。介立たない高齢者が困窮している。残る生活保護法は、制約が多く、誰でも利用できるわけではない。	制度の谷間をつくらないためには、まず生活を包括的に支えるしっかりとした制度基盤が必要です。だれもが安心して生活できる制度があって、はじめて自発的な活動として自助互助が期待できるように思います。
解 説	戦後急増した貧困者対策として1946～50年に福祉三法が整備された。 1946年旧生活保護法から生存権保障を明確にした生活保護法は1950年成立。保護施設として養老施設があった。	老人福祉法成立（1963年）当初は、養護老人ホームが主流であったが、1970年代以降特別養護老人ホームが急増した。 1975年、保谷市（現西東京市）緑寿園が在宅サービス事業を創設、以後1980～90年代の特別養護老人ホームはデイサービス、ショートステイ等の在宅サービスを併設するようになった。ホームヘルプの多くは市や社協の事業だった。	老人福祉法の養護老人ホーム、特別養護老人ホームは衣食住+文化的生活を現物で提供する場であった。年金がなくても、少な制度が変化した2000年、生活の保障は生活保護法に残し、高齢者の社会保障は「介護」にて、サービス付き高齢者住宅等が急増しているが、居住費等の利用者負担が重く、年金がなくなり、食事の宅配業や家事サービスも市場で多様化している。経済力のある高齢者には、で購入する力のない単身・老世帯の生活は孤立している。 していないため、衣食住をはじめとする生活上の課題は、介護保険では解決できない。介立たない高齢者が困窮している。残る生活保護法は、制約が多く、誰でも利用できるわけではない。	制度の谷間をつくらないためには、まず生活を包括的に支えるしっかりとした制度基盤が必要です。だれもが安心して生活できる制度があって、はじめて自発的な活動として自助互助が期待できるように思います。	

（編集：法人事務局 青木 志乃）



祝

敬老の日



～各施設の敬老の日のひとこま～



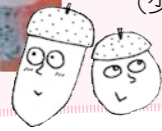
泉苑

きずな

きずなでは毎年、自治会主催の敬老会に参加し、子ども達が手作りのプレゼントと出し物を披露しています。今年は、和紙で装飾した写真立てのプレゼントと、ソーラン節を披露しました。

ソーラン節の出番直前、子ども達は緊張している様子でしたが、いざ舞台へ出てみると、表情は一変！どの子も勇ましい姿で鳴子を鳴らし、小さな体を懸命に動かしていました。子ども達の「ソーラン！ソーラン！」という元気な掛け声に、お年寄りの方々は喜んでいらっしゃいました。子ども達のソーラン節によって、お年寄りの方々がこれからもずっとお元気でいてくださったらと思っています。

（少年指導員 山城克之）



緑苑

「敬老のつどい」を開催しました。第一部の式典では、養護老人ホーム信愛寮・特養ホーム信愛緑苑が合同で、最高齢102歳の方を筆頭に、46名の賀寿の皆様のご長寿をお祝いしました。

第二部は昼食会。信愛寮では、102歳方の乾杯の挨拶で始まりまして。祝い御膳は、鯛飯、お造り、お重、そして紅白饅頭と沢山のご馳走です。お隣同志で互いの長寿を語り合い、仲良く食事を召し上がっているお姿が、とても微笑ましく見えました。

最後は各部署の職員が楽しい演芸を披露。ご利用者も大変喜ばれた様子でした。来年もぜひ、大笑いしている光景を拝見させていただきたいです。

（支援員 小井手春美）



（介護員 浅上勝敏）

あさひ苑

9月11日からの3日間「あさひ苑デイサービス敬老の日を祝う会」が開催されました。今年もあさひ苑応援隊、演芸のボランティアの皆様の協力を得て、笑顔あふれる会となりました。ありがとうございます。

さて敬老の日を祝う会では定番の質問で「健康の秘訣は？」「元気の源は？」があります。

その答えにも定番があり「くよくよいしない事」「あさひ苑にくる事」などですが、今年とはあるご利用者から「志を持つ事よ」と言われ深く感銘をうけました。この仕事をしているとご利用者から教わる事が多いです。ご利用者からみれば私はまだまだ“ひよっこ”、身が引き締まる思いです。

（介護員 浅上勝敏）



岩本町

グループホームいわもとでは9月14日に敬老祝賀会を行いました。ご利用者の皆さんはおしゃれをして、紅白幕とくす玉、テーブルにはお花を飾って、ご家族もお祝いに来て下さり、いつもの食堂がお祝いの雰囲気です。今年の祝賀会で一番盛り上がったのは高円寺阿波踊り胡蝶蓮様による阿波踊りでした。神田生まれでお祭り好きのAさんは踊り手の掛け声を一緒に言いながら楽しそうに手拍子をしたり、子供が大好きなBさんは小さな女の子が一生懸命に踊っているのを笑顔で応援したり、大好評でした。最後は胡蝶蓮様と一緒に集合写真を撮りました。また来年も盛大にお祝いさせていただきます！

（介護員 菅沼美希）



かんだ連雀

今年もかんだ連雀では敬老祝賀会が行われました。私はいつもこの日を楽しみにしています。ご利用者がいつもと違う様子を見せて下さるからです。

昼食は豪華なお弁当。普段は食のほそいあるご利用者が、お箸できれいに1品1品を1口大にして、眼で楽しみながら美味しそうに召し上がっていました。いつもと違う！発見です。

午後の祝賀会の余興では、私も参加して『よさこいソーラン節』を踊りました。迫力のある大きな動きの踊りだったので、皆さまに大変喜んでいただきました。

普段はあまり感情を表に出されないご利用者も笑顔で拍手をして頂き、これもいつもと違う！発見です。

来年はどんな「いつもと違う発見」ができるのか、今から楽しみです。もちろん、私たちも沢山の発見を期待してがんばります！

（介護員 名倉勇気）



たち

たちのひろばで行われているスポットタイムの中で、敬老の日にちなんで「肩たたき」の歌をみんなで一緒に歌いました。懐かしむ声や、初めて歌う親子もいたようです。

おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に来た子が、歌に合わせて肩をやさしくたたいてとても和やかな雰囲気となりました。みなさんにも覚えて帰ってもらい、おうちや田舎のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に歌を歌いながら肩たたきをしてくれたらな…と思います。

（地域支援ワーカー 木村恵理佳）



しらとり

泉苑での敬老会に、白鳥寮の子どもたちが招かれ、一緒にお祝いをしました。

緊張気味の子どもたちでしたが、6人の小学生が参加し、作文と歌を披露しました。作文を読んだ小学校2年生の女の子は、おばあちゃんとやりたいこと、教えてもらいたいことなどを上手に文章にして立派に読み上げました。

その後、6人で手をつないで「世界中の子どもたちが」を歌いました。毎日学童保育の時間に猛練習しましたが、本番はちょっと控えめな歌声に…。そんな姿も、泉苑のご利用者の皆様は暖かく見守り、とても喜んで下さいました。高齢者との交流ができ、とても良い機会が持てたと思います。

（保育士 萬友希子）





この日帰り旅行が親子の秋の思い出のひとつになれば良いと思います。
この日帰り旅行が親子の秋の思い出のひとつになれば良いと思います。

(少年指導員 田澤 夢絢)

施設 だより



秋といえば



日増しに秋の深まりを感じる季節になりました。秋といえは皆さん何を思い浮かべるでしょうか。各施設から様々な秋のお便りが届きました。

きずな

秋の日帰り旅行

きずなでは、日帰り旅行で東京Disneyランドに行ってきました。学童の子ども達は数日前からソワソワしており、以前行った時の話、乗ってみたいアトラクションの話など、Disneyランドの話でもちぎりで話した。行きバスでは到着時間までクイズをしました。正解者には景品が贈られるため、みんな真剣に考えていました。Disneyランドに着くと、曇りの予報にもかかわらず、夏に戻ったかのような暑さでした。今年はクイズの他にも、パーク内で職員と会ったらしおりにスタンプを押してもらおうという、スタンプラリーも初めて試みました。Disneyランドは広いため、なかなか会うことはできないのですが、バッタリ会ったみんなは笑顔で楽しんでいる様子でした。

帰りの集合場所では、乗ったアトラク

ションのこと、お土産のことなど、パーク

内での出来事の話で盛り上がりかけていま

した。洋服や髪飾りをキャラクターモチ

ーフのものに取り換えている子どもたち

の姿も見られました。

この日帰り旅行が親子の秋の思い出の一

つとになれば良いと思います。

あさひ苑

秋のお楽しみ

紅葉の便りがあちらこちらから聞こえてくる季節になりました。私は一度京都の紅葉を体験したいと思っていますが、かなりの人出でゆっくり楽しむことも大変、という噂も耳にしており未だ実現していません。しかし遠出をしなくても、あさひ苑の周りにも見事な紅葉を見せてくれるスポットがあります。ご利用者の中には毎年職員と一緒に散歩をしながらその紅葉を楽しまれる方もいます。「見事な色合いね。芸術作品のようだね。」と笑顔で話されている姿がとても印象的です。

外に出ることが難しいご利用者は部屋からお月見をされる方もいます。輝く月の姿に時間を忘れて眺めていることもあるほどです。

他にも、秋の季節の悪戯なのか、お寝坊さんと食欲旺盛になる方が増える

ことでしょうか。寝苦しい季節が過ぎて気持ちが良いのか、いつも早起きの

方がいつまでも起きられずベッドでのんびりされていたり、ほんの数分前に

食事が終わったばかりでも、次の食

事を気にされたりと、ほのぼ

のとした光景が日々繰り返り広げられて

おります。ご利用者と共に、秋とい

う季節を楽しみながら、次の季節を

迎えたいと思います。

(特養ホーム介護員 佐藤 知也)

きずな



子ども達が敬老会でお年寄りの方々にプレゼントした、手作りの和風写真立てです。

たち



「ブロックのお家」お母さんと作りました！中に入れてご満悦。

しらとり



牛乳パックでポックリ作り！

かんだ連雀



ペットボトルキャップ、ミルクキャップに綺麗な紐をボンドで付けながら巻き付け、つばの部分は、厚紙を使用し、裏の部分はフェルトを貼っているエコキーホルダーです。

秋の 季刊しんあい 紙上展覧会

岩本町



デイサービスのご利用者作。エコバッグ、小物入れ、お財布、菓子皿、壁飾り、皆様どれも熱心に作りこまれました。完成品をお持ち帰りになる時、みなさんととてもうれしそうでした。

緑苑



特養ホームご利用者の力作

泉苑



デイサービスでおいしいデザートが出来上がりました！

あさひ苑



あさひ苑での作品展用に一生懸命作りました！

泉苑

芸術の秋



（管理栄養士 親泊 美輝子）

先日、お祝い膳、お祝菓子、式典や余興などで敬老のお祝いをしました。「美味しかったわよ」と席を立つMさん。手はこの日のために用意したランチョンマットを持っていきます。声をかけるとアレンジをして飾ること。後日、Mさんのお部屋を訪ねてみると、お部屋の前の廊下にたくさん作品がありました。Mさんの作品は身の回りにもあるものを工夫してカラフルに仕上げているのが特徴です。

先日のランチョンマットも金魚鉢をイメージした色彩たっぷりの素敵な作品に仕上がっていました。去年の敬老や今年のお正月のランチョンマットも季節のモチーフで飾られたタペストリーに生まれ変わって感動しました。これから他の作品に取り掛かるそうです。

深まる秋に作品を見

緑苑

ほっとサロンで秋を満喫！



緑苑では府中市若松町にある人見研修所をお借りして、毎週火曜日に地域デイサービス「ほっとサロン」を開いています。

「芸術の秋」。

もちろん緑苑からお届けするおいしいお食事を召し上がっていただく「食欲の秋」も忘れちゃいけないですね。その他にも「大笑いの秋」なんていうのもあるでしょうか。

暑い夏も終わり、心地よい季節となりました。ほっとサロンを通してお一人お一人お好みの秋を存分に楽しんで頂ければと思います。

（地域包括支援センター長 野尻 俊介）

しらとり

みんなで楽しく、よ〜いドン！

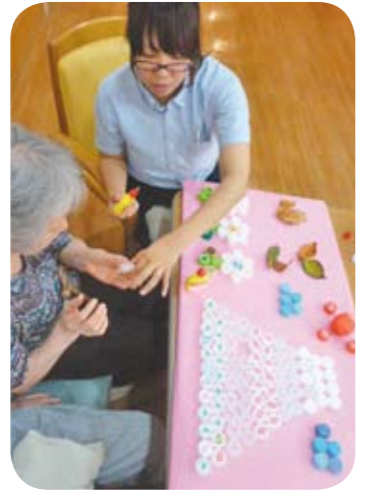


（支援ワーカー 石田 睦美）

夏の暑さも一段落し、すがすがしい風が吹き抜ける季節となって外へのお出かけ、お散歩も気持ちいい今日この頃…。よく晴れた天気の中、しらとりでは屋外での「あおぞらオープンルーム」が開催されました。近くの公園で、地域の親子が参加できるプログラムです。室内ではできないようなボールやシャボン玉、パラシュートなどで元氣よく遊んだあとは運動会！みんなで輪になって親子でダンスを踊ったり、障害物競争で輪をくぐったり、棒を飛びこえたり…。初めて参加する親子も自然と仲良くなり、最後までがんばる親子を応援する姿もみられました。子どもたちも、たくさん動いて満足顔です。秋晴れにふさわしい、和気あいあいとした運動会となりました。

岩本町

リサイクルでエコな芸術の秋



皆様この作品は何でできているか分かりますか？ そうです。ペットボトルのキャップです。夏場に飲み終わったペットボトルのキャップを再利用した作品です。この作品を作るきっかけになったのがご利用者の「なにかに利用できないかしら？」という一言からでした。

ショートステイでは、活動の時間に折り紙や画用紙を使った作品を多く作りますが、今回取り組んだ作品は、材料費が掛っていないのでとてもエコです。作品を作る際も、構図を考えたり、数を数えたりと協力して取り組みましたが、キャップの色は白が多いため色合わせに苦戦し、ようやく出来た作品です。

普段は捨ててしまつものから素敵な作品ができて、創意工夫の芸術の秋になりました。

（介護員 木田 幸江）

連雀

思い出の秋



秋といえば、皆さまは何を思い浮かべますか？ 私は金木犀の香りを思い出し、何だか懐かしい気持ちになりました。秋についての原稿を書く際、何を書こうかと考えた時にご利用者の「秋といえば」は何かを伺ってみよう、そう思いつくそく聞いてまわりました。

ある方は、開口一番に「紅葉」次に「梨」「秋刀魚」「柿」と続き、幼少の頃に家の庭にある柿の木に登ったエピソードまで教えて下さいました。美味しい物が沢山溢れまさに食欲の秋ですね。

次の方は「運動会」との答えが返ってきました。思い出を伺ってみるとかけこで1等賞を取ったことがあると懐かしそうに笑顔で話をして下さいました。

今年の連雀の秋はどんな思い出が生まれるのでしょうか。ご利用者に秋を感じていただけようように一杯取り組んでいきたいと思っています。

（介護員 増田 香織）

たち

これから「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」になるお子さんと一緒に



たちでは、毎年秋になると「ようこそ！赤ちゃん」という講座を実施しています。

この講座は助産師の方をお招きして、妊娠中のお母さんとお父さん、そしてお子さんと家族全員で参加していただけます。

講座前半では、ヒトの誕生について人形や絵本を使ってのお話があります。

最初は小さな豆粒ほどの大きさしかない赤ちゃんが少しずつ大きくなっていく様子に、子どもたちも興味しんしんに聞いてくれます。

「赤ちゃんの手と、みんなの手どっちがうかな？」「赤ちゃんの目とみんなの目はどっちがうかな？」助産師からの問いかけに、次々と答えてくれます。

バスタオルに包まれた赤ちゃん人形をそっと抱っこして、これから迎える赤ちゃんに思いをはせているお子さん、その光景を見つめるお父さん、お母さんの姿があります。「ママのおなかにも赤ちゃん？」と聞いたお子さんもいたそうです。

そんな温かな親子の交流をこれからもお手伝いできたらと思っています。

（相談員 太田 絢乃）

ニュース

10月11日と12日に府中市で開催された「福祉まつり」に、多摩同胞会も参加しました。

台風の影響が心配される週末でしたが、多くの方々を訪れていただきました。市内に5か所ある施設それぞれの活動をパネルで展示したところまでは昨年同様ですが、今回は「パネルを見ればわかる」簡単なクイズに回答していただける景品をゲットできるという趣向をこらしてみました。初の試みは行列ができてしまうほどの盛況で、法人の活動も多くの方に知っていただけたと思います。

（しらとり少年指導員 小島 宗宏）



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

（株）飛行船 三建サービス ㈱ポリシヨイサーカス ㈱ヤクルト球団 ㈱オリックス宮内財団 ㈱東京都人忠支事業部 K C I G R O P 株式会社キッザニア東京 相田みつを美術館 あかしや会 ㈱秋山酒店 伊藤忠テクノソリューションズ ショーンズ 稲葉悦子 江田廣子 大沢良三 小澤末子 川博 河村恭 ㈱菊久 北山町夏祭り盆踊り実行委員 北山ホームサービス 木本志津江 栗林正昭 小泉栄 坂本建吾 塩澤佳津子 セカンドハーベスト・ジャパン 浅間町二丁目自治会 浅間町婦人会 田辺十二子 高砂会 東桜会 東京都食肉衛生同業組合 西多摩地区保護司会あきる野分区分 人形劇団ブーケ 久松壽枝 ㈱ひなり 比留間敬夫 藤本HD株式会社 文化センター圏域コミュニティ協会 ホシザキ東京株式会社 緑町三丁目自治会 村松麻里子 ㈱明豊フーズ シリテイクス 山内俊子 吉田ヒサ子 (2014年7月〜2014年9月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 赤林好子 アクシオンクラブKATSU☆ KIDS 朝倉ミエ子 網代恵美 網代弘子 荒井由子 荒波智子 有本陽子 飯塚喜彦子 囲碁を楽しむ会 伊澤美紀子 石井悦子 石井久子 石井宏 石坂勝世 石坂トメヨ 石坂友子 石澤圭子 市川アイ子 市川尚子 市川知子 井出直子 遠藤伊代 伊藤徳三郎 佐藤ミドリ 岩崎順 岩崎敏信 植松八千代 魚川桂子 鶴澤シズ 歌とピアノ 内堀美喜 藤藤治代 梅原薫 梅原光洋 ト部和子 上床晃史 遠藤圭太 遠藤みつよ 遠藤陽子 大川久美子 大久保峯子 大倉弘子 大島康子 大島庸子 大野文子 岡田愛子 緒方シゲ子 岡田基子 岡裕子 小川健治 萩野和子 萩野真理子 萩原奈美 奥山亜子 奥山チヤ子 小倉富子 小倉道子 オオサの会 尾崎節子 尾崎絃之 尾崎靖宣 尾崎ヨシ子 尾崎佳子 小貫良子 おはなし夢くらぶ 思の出童謡の会 尾山由美子 折田浩一 御野礼子 海江田紀久子 笠間豊子 鹿島千重子 鹿島キチ 梶山アサミ 梶原栄造 船野美千代 片桐キミ子 カットサロンアベ 勝岡田清美 加藤静 加藤規子 加藤博子 加藤美美子 加藤洋子 金澤静江 金子武仁 狩野有美子 上沢美和子 上柳えみ 亀岡紀知信 川村桂子 菊池由美子 北島美恵子 北村三枝 北村よしこ 木森哲 草野美鈴 具嶋郁子 國定毅 久野晃 久保田摩耶子 蔵内睦子 栗原宏子 桑原侑子 弦間まさ 小石暁子 小出農一 小出由美子 小岩井雅人 高門寺阿波踊り胡蝶蓮 国分よここい 越川幸子 小島恵美子 小島ユミ子 小島百合子 小菅よし江 後藤祐輝 小林幸代 小林真弓 小島美代子 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 小牧直子 是永美代子 紺野和子 今野幸子 ザ・ポディーショップ 齋藤孝子 齋藤智恵子 齋藤千枝子 齋藤則子 佐伯ヨシ子 酒井和子 坂井香奈絵 坂本越子 坂本敬子 坂本サヨ子 佐久間桂子 桜井正治 佐々木真由紀 佐藤イノ 佐藤英子 佐藤公子 佐藤紗子 佐藤ななか子 佐藤初江 佐野邦子 佐野田鶴子 澤田良子 椎名君代 塩澤佳津子 重田文子 品田実子 島田たず 清水文枝 下江美鈴 下染屋 下宏子 秀麗会 進藤サエ子 進藤暉子 新村信子 杉本節子 杉山 恵子 鈴木暉子 鈴木和子 鈴木好枝 鈴木嘉子 スターバックススコヒー 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集い 高井洋子 高澤久美子 高鍋恵子 高橋恭子 高橋ちよ子 瀧澤千登勢 竹内由美子 武野純子 竹松ふく 田島みよ 田代郁子 辰本ケイコ 田中久美子 田中ヒサ子 田中翠 田部美智子 多摩スマイル吹奏楽団 丹野由紀子 千葉芳子 中条啓助 土屋とさき枝 堤明 寺町律子 東郷實枝子 戸島正子 長さき 富田文子 富田和代 中垣春代 中下秀子 橋島広美 中村綾子 中村紀久子 中村清美 中村フサ子 中村美佐江 中村靖子 中村恭徳 中山康 那須史子 ナップファミリー 西川順子 西久保長子 西村珠美 西村優希 西山京子 二宮澄子 沼田咲希 野坂昭弘 野坂いせ 榎崎聖子 萩原八枝 橋場昭 橋本巖 橋本恵子 羽鳥のみこ 濱田真理奈 早矢仕房男 原田園彦 原田康子 原俊江 樋口よし子 肥後住江 土方玲子 尾藤智子 平泉順子 平尾佳奈子 平岡美津子 平澤みどり 平田敦子 広木さく江 福田佐代子 藤沢キエ 藤田京子 府中囃子保存会武蔵台支部 船岡栄子 舟見三佐子 プリリアンスタースズ ふれあいクラブ浅間 星川美津子 星野ユキエ 星野若佐 堀田武三郎 堀切重明 星川美津子 孫田一昭 政所優季 町田知行 松尾和枝 松沢信子 松下朗 松下 健 松野アイ 丸田のぶ子 三浦やす子 三坂和子 水島かえで ミスターマック 水谷百合子 三輪孝子 宮崎清子 宮下美智子 明神淑恵 明神冷子 民謡と三味線の会 村井福子 村野豊子 望月友子 本野幸子 百瀬洋子 森澤典子 森脇敦子 モルガスタレーン 八重の会 谷貝祥子 山田一九 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山野栄治 山本博子 山本峯子 鐘澤千寿子 ゆうかファミリー 尹 鮮希 横尾美知子 よさこい白糸緑風会 よさこい武蔵 吉田恒雄 吉田睦子 米山秀子 ラインの風 ありまつりの会 朗読赤十字奉仕団 若葉会 脇山 令子 和田誠子 渡辺勇 渡辺一恵 渡辺勝征 渡辺キク 渡辺久代 渡邊弘子 渡辺浩美 渡邊房子 渡辺守

(2014年7月〜2014年9月)

編集後記

秋の味覚を楽しんだり、運動や読書にも取り組んで、秋を満喫したいです。(きずな 富山真輝)

秋といえば…一番に思いつくのは食欲の秋。たくさんの秋の味覚を楽しみたいです！(たっち 木村恵理佳)

秋晴れが気持ちいい季節。これを機に運動でもはじめてみたいと思います。(しらとり 萬友希子)

運動の秋。自転車さわやかかな風を感じながら、町や自然の散策に出かけます。(緑苑 丸山徹)

今年は、山梨県の昇仙峡へ紅葉狩りに行きました。今年はどこかの紅葉を見に行こうか検討中です。(かんだ連雀 浅見達也)

今年には読書の秋を始めました。今年1月に1冊を目標に秋が終わりつつも続けようと思います。(岩本町ほろろクラブ 菅沼美希)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで！

●泉苑 ☎0120-6540-24 老後支援 24時間
●あさひ苑 ☎0120-2942-24 福祉にっこり 24時間



多摩同胞会のホームページを携帯でもどうぞ！